



帯山小学校だより

No.7 R6.10.2 文責 校長 西方 浩一

「めあて」を立てて、振り返りながら

2学期の始業式で、子どもたちに蒔いてほしい愛の花の種について話をしました。①思いやりの種、②学び合いの種、③笑顔の種、④感動の種です。そこで、今月の全校集会では、この一か月、どんな種を蒔くことができたか振り返りました。



①の思いやりの種については、次の人への思いやりのサインである「トイレのスリッパ並べ」がよくなりました。ちょっと落とし物が多いことが気になります。人と同じように、物にもやさしくできるといいですね。また、整美委員がゴミ拾いを提案し、実行してくれました。しかし、頑張っている友達の横で遊んでいる子どももいました。毎日のことではありませんので、考えて行動してほしいものです。

②の学び合いの種については、学級で教え合ったり、考えを伝えあったりする場面をよく見ました。また、学級で話し合い活動を行うなど意見の交流ができていました。

③の笑顔の種については、自分から笑顔であいさつをしてくれる子どもが増えました。遠くから私の姿を見つけて「校長先生、おはようございます。」とあいさつしてくれる子どももいます。また、朝の歌の時間にギターを抱えて各学級を回っていると、笑顔で迎えてくれたり、歌ってくれたりし、子どもたちから元気をもらいました。

④の感動の種については、合唱部の子どもたちが校区の敬老祝賀会にゲスト出演し、参加者の皆さんから感動の涙や拍手をいただきました。「ありがとう」と言ってもらい、合唱部の子どもたちも感動できたことでしょう。また、我が先輩の富田宇宙選手が、パリパラリンピック競泳の2種目で銅メダルを獲得されました。先輩の活躍に感動をいただきました。本当におめでとうございます。

これからも子どもたちには、「めあて」を立てて、振り返りながら、自分たちの成長に気づき、更なる目標にチャレンジしてもらいたいと思います。



新たに中庭の舗装をしていただきました。

先月12日(木)、中庭東側の舗装工事が行われました。本校の保護者でもあるむつみ建設工業さんが大成ロテックさんより資材の提供を受けられ、ボランティアで舗装をしてくださいました。

2年前、正門から登校してくる子どもが中庭を通る際にぬかるみがひどかったため工事していただき、とても通りやすくなりました。今年度も何かお手伝いできないかとお申し出いただき、児童昇降口から中庭を通り東門までの舗装延長をお願いしていたところ実現に至りました。

急な工事であったため、子どもたちの安全確保にばかり気をとられ、学校周辺のご家庭への配慮が欠けておりました。申し訳ございません。今後は、工事等でご迷惑をおかけする場合には、事前に近隣の皆様にお知らせをするよう努めてまいります。

なお、むつみ建設工業さんと大成ロテックさんには、先月27日(金)に、学校から感謝状を贈らせていただきました。ありがとうございました。